



協会ニュース No.20

平成18年8月1日発行

きれいな水を未来に



JQA-EM3470

熊本県知事指定検査機関

社団法人 熊本県浄化槽協会

本部 / 〒862-0965 熊本市田井島3丁目9番18号
TEL (096) 370-3355 FAX (096) 370-3388

URL <http://www.ajk.or.jp>

目次

1. 会長挨拶	2
2. 第33回通常総会	3
3. 新役員名簿	3
4. 第33回通常総会質問事項	4
5. 平成18年度 事業計画	5
6. 平成17年度 収支決算書	6
7. 平成18年度 収支予算書	7
8. 平成18年度 各支部長名簿・製造部委員会名簿	8
9. 平成18年度 施工部会委員会名簿・維持管理委員会名簿.....	9
10. 社団法人熊本県浄化槽協会法定検査業務計画	10・11
11. 環境分析センター 環境計量事業ご案内	12・13
12. 研修にあたって	14
13. 新ホームページ 予告	14
14. 前会長挨拶	15
15. 第20回 全国浄化槽技術研究集会開催のご案内	16
16. 編集後記	16



ご挨拶

去る5月26日に開催されました、第33回通常総会におきまして提案されました全ての議案が満場一致で可決され、総会が無事終了致しました事を会員の皆様方にご報告申し上げます。

公共水域の水質汚濁の主要因である生活排水の処理施設として浄化槽は処理性能に優れ経済性・効率性も高く益々その役割が重要視されています。

そのような中、本年2月には浄化槽法の一部改正が行われ、法定検査の未受検者に対し罰則が規定されました。しかし私達は罰則に頼ることなく、おごることなく従来にも増して謙虚に業務を遂行するために、法定検査の新5ヵ年計画を策定し現在の検査率43%を5年後には総設置基数の80%まで引き上げるという目標を掲げています。この実現の為に現在借用中の事務所では手狭である上に老朽化が進み、一日も早い事務所移転新築を急がねばなりません。

また今年から浄化槽の設置促進を図るため計画・立案・提案を行う総合コンサルティング体制の確立を図り、市町村等に対してアドバイスや提案ができるような仕組み作りを整え、県民の皆様は浄化槽の良さを知ってもらいその設置促進を広く呼びかけて参ります。そのためには製造・施工・維持管理の三部会がベクトルを合わせ、当協会の基本理念である公共水域の環境保全と公衆衛生の向上に務めることが重要であり、私達は水環境保全の第一線に立つとのプライドと責任感を持って業務に精励しなければなりません。

また10月には熊本で「第20回全国浄化槽技術研究集会」が開かれます。有明海・八代海など水問題をかかえる熊本県で開催されることは大きな意義があり、このチャンスを活かし協会が一致団結して県民へのアピール活動に務めて参ります。

私共業界を取り巻く環境は激変し難題の山積中ではありますが、会員ならびに役職員の皆様方のご協力を頂きながら、新任会長として微力ながら精一杯その責めを果たすべく務めて参ります。

終わりにになりましたが会員企業の益々のご繁栄と皆様方のご健康を祈念しご挨拶とさせていただきます。

社団法人 熊本県浄化槽協会

会長 横山 英生

第33回通常総会開催

平成18年5月26日、熊本市において第33回通常総会が開催されました。
今年度総会では、役員改選も行われるなど、長時間にわたる有意義な総会が滞りなく行われ、すべての議案が承認されました。



第33回 通常総会

新役員名簿

《平成18年度～平成19年度》

(敬称略)

役職	部会名	支部名	氏名	事業所名
会長	施工	天草	横山英生	天草設備(株)
副会長	管理	水俣	島田好久	(有)水俣浄化槽管理センター
"	製造	県外	高塚誠次	(株)ダイキアクシス
"	施工	熊本	塚本頼光	(株)明誠設備
理事	管理	"	福島光悦	(有)光水メンテナンス
"	施工	"	森田和博	(株)森田設備
"	管理	"	内田幸一郎	(有)旭清掃社
"	製造	"	古閑久章	(有)熊本浄化槽販売
"	製造	"	青木義樹	九州ニッコー(株)
"	製造	"	緒方豊	新日豊工業(株)
"	管理	有明	那須良介	(株)中央環境管理センター
"	施工	山鹿	田中栄一	(資)とらや商会
"	管理	菊池	富岡庸一郎	(有)旭総合メンテナンス
"	施工	阿蘇	村本征秀	(有)村本設備工業
"	施工	御船	伊豆野弘見	(有)伊豆野設備
"	管理	宇城	宮崎龍也	(有)宮崎清掃社
"	施工	八代	野田義治	(株)野田設備
"	施工	水俣	前田俊一	(有)トシワ
"	施工	人吉	緒方保正	(有)緒方水道設備
検査担当理事	-	-	上野達郎	熊本県人吉保健所長
"	-	-	實政勲	熊本大学大学院自然科学研究科教授
"	-	-	坂田孝志	八代市長 熊本県合併処理浄化槽普及促進協議会会長
"	-	-	吉田孝	熊本市中央老人福祉センター所長
"	-	-	山田弥生	熊本県地域婦人会連絡協議会会長
常務理事	-	-	西村健一	社)熊本県浄化槽協会事務局長
監事	製造	熊本	光永光義	(有)光永商会
"	施工	熊本	西川清明	西川設備工業(株)
"	管理	八代	沢村安博	(有)八代郡浄化槽管理センター



会場の様子

第33回通常総会質問事項

総会に於いてご質問頂いた内容につきましてその質疑応答の概要を下記に記載します。

記

【質疑応答 概要】

Q 1 . 未収金対策への更なる取り組み強化及び関係資料の工夫。

A 1 . 関係資料については今後分かり易い内容の提示を検討します。具体的な未収金の縮減対策については、委員会等での検討をお願いしたいと考えます。

Q 2 . 会館建設の具体案。

A 2 . 新役員の皆様を中心にご検討頂きたいと考えます。

Q 3 . 弁護士及び税理士の活動内容。

A 3 . 検査員が事件等に巻き込まれないように安心して業務に専念出来るよう配慮したものです。

Q 4 . 道交法改正に伴う『駐車違反取締り』に対する協会の対応。

A 4 . 今後の課題として早急に対応します。

Q 5 . 支部との連携強化に対する具体的取り組み方。

A 5 . 浄化槽を取り巻く環境が厳しくなる中、協会組織を強化し市町村等へ設置促進等を図りつつ支部との連携も強化したい。

Q 6 . 職員の構成及び人件費等の経費（一人当たりの概算）の公開。

A 6 . 次年度、代表的なケースを公表することも含め検討します。

Q 7 . システム改造費。協会内部体制の効率化及び人員の有効活用。

A 7 . HP、セキュリティ、改造費等。内部体制等のご指摘は真摯に受け止め、今後検討します。

Q 8 . 理事構成及び選出方法の問題点の検討。

A 8 . 新体制において、問題点や矛盾点については今後協議を行って頂きたいと思えます。



表彰式

平成18年度 事業計画

1. 理事会及び部会・各種委員会の活性化
2. 法定検査事業の推進
3. 製造・施工及び維持管理の適正化事業の推進
4. 浄化槽全基数調査事業
5. みなし浄化槽（単独処理浄化槽）対策について
6. 設置者・技術者講習会事業
7. 第20回全国浄化槽技術研究集会の開催
8. 普及啓発・情報提供事業
9. 支部組織の連携強化
10. 計量事業について
11. 小型合併処理浄化槽機能保証制度の推進
12. 事務所移転について
13. 職員研修の強化
14. PFI 事業（民間主導による公共事業）について
15. 公益法人制度改革に関する調査研究
16. 新規事業の為の取り組み
17. 顕彰・表彰事業の推進

平成17年度 収支決算書

(収入の部)

自 平成17年4月1日

至 平成18年3月31日

単位：円

大科目	17年度予算額	決算額	差異
基 本 財 産 運 用 収 入	9,000	7,167	1,833
会 費 収 入	13,320,000	12,912,000	408,000
事 業 収 入	313,233,775	316,102,925	-2,869,150
雑 収 入	1,050,800	2,423,380	-1,372,580
敷 金 ・ 保 証 金 戻 り 収 入	49,432	180,000	-130,568
繰 入 金 収 入	0	6,533,773	-6,533,773
当 期 収 入 合 計	327,663,007	338,159,245	-10,496,238
前 期 繰 越 収 支 差 額	95,670,283	95,670,283	0
収 入 合 計	423,333,290	433,829,528	-10,496,238

(支出の部)

単位：円

大科目	17年度予算額	決算額	差異
事 業 費	237,208,000	229,679,236	7,528,764
管 理 費	72,930,740	74,652,821	-1,722,081
固 定 資 産 取 得 支 出	2,000,000	2,227,440	-227,440
そ の 他 の 支 出	15,524,267	17,012,200	-1,487,933
繰 入 金 支 出	0	6,533,773	-6,533,773
当 期 支 出 合 計	327,663,007	330,105,470	-2,442,463
当 期 収 支 差 額	0	8,053,775	-8,053,775
次 期 繰 越 収 支 差 額	95,670,283	103,724,058	-8,053,775

平成18年度 収支予算書

(収入の部)

自 平成18年 4月 1日

至 平成19年 3月31日

単位：円

大 科 目	17年度予算額	決 算 額	18年度予算額
基 本 財 産 運 用 収 入	9,000	7,167	10,000
会 費 収 入	13,320,000	12,912,000	13,000,000
事 業 収 入	313,233,775	316,102,925	320,035,000
雑 収 入	1,050,800	2,423,380	1,851,000
敷 金 ・ 保 証 金 戻 り 収 入	49,432	180,000	0
繰 入 金 収 入	0	6,533,773	0
当 期 収 入 合 計	327,663,007	338,159,245	334,896,000
前 期 繰 越 収 支 差 額	95,670,283	95,670,283	103,724,058
収 入 合 計	423,333,290	433,829,528	438,620,058

(支出の部)

単位：円

大 科 目	17年度予算額	決 算 額	18年度予算額
事 業 費	237,208,000	229,679,236	237,108,000
管 理 費	72,930,740	74,652,821	81,324,000
固 定 資 産 取 得 支 出	2,000,000	2,227,440	2,300,000
そ の 他 の 支 出	15,524,267	17,012,200	14,164,000
繰 入 金 支 出	0	6,533,773	0
当 期 支 出 合 計	327,663,007	330,105,470	334,896,000
当 期 収 支 差 額	0	8,053,775	0
次 期 繰 越 収 支 差 額	95,670,283	103,724,058	103,724,058

平成18年度 支部長名簿

(敬称略)

支部名	部会	氏名	事業所名
熊本	施工	森田和博	(株)森田設備
有明	管理	田中雄三郎	(有)田中商会
山鹿	施工	田中栄一	(資)とらや商会
菊池	管理	富岡庸一郎	(有)旭総合メンテナンス
阿蘇	施工	村本征秀	(有)村本設備工業
御船	管理	塚本勝紀	(有)御船総合管理センター
宇城	施工	東田慎一	(有)大東工業
八代	管理	宮崎清五	(協業)八代清掃公社
水俣	施工	前田俊一	(有)トシワ
人吉	管理	祝憲生	人吉衛生設備管理(有)
天草	施工	連川仁視	連川設備

製造部委員会名簿

平成18年度～平成19年度

	氏名	事業所名
部会長	高塚誠次	(株)ダイキアクシス 熊本営業所
委員長	青木義樹	九州ニッコー(株)
委員(熊本)	吉村俊治	旭電業(株)
委員(熊本)	古閑久章	(有)熊本浄化槽販売
委員(熊本)	松本繁	松本実業(株)
委員(熊本)	柏木憲一	ヒノマル(株)
委員(熊本)	緒方豊	新日豊工業(株)
委員(熊本)	西田幸之助	アムズ(株) 熊本営業所
委員(熊本)	光永光義	(有)光永商会
委員(熊本)	野田敏行	ニッシン工業(株) 南九州営業所
委員(熊本)	稲葉義輝	(有)アイ・エヌ・ビー
委員(熊本)	村上哲郎	(有)エム・ケイ・シー
委員(有明)	三浦士郎	(有)サンコー
委員(県外)	小熊坂正規	フジクリーン工業(株) 熊本営業所
委員(県外)	元木武治	積水ホームテクノ(株) 中四国支店
委員(県外)	十河秀孝	(株)クボタ九州支社
委員(県外)	宮内評司	(株)日立ハウステック西日本 熊本営業所
委員(県外)	宮本光範	ゼオン環境資材(株) 熊本営業所

施工部委員会名簿

平成18年度～平成19年度

	氏 名	事 業 所 名
部 会 長	塚 本 頼 光	(株)明誠設備
委 員 長	森 田 和 博	(株)森田設備
委 員 (熊 本)	田 中 利 和	(株)八丁設備
委 員 (熊 本)	今 井 憲 章	(有)いまい設備工業
委 員 (熊 本)	満 留 勝 己	(株)みつとめ設備
委 員 (有 明)	前 田 萬 喜	(有)前田設備工業
委 員 (山 鹿)	田 中 栄 一	(資)とらや商会
委 員 (菊 池)	土 本 勝 洋	(有)クドウ工業
委 員 (阿 蘇)	村 本 征 秀	(有)村本設備工業
委 員 (御 船)	伊豆野 弘 見	(有)伊豆野設備
委 員 (御 船)	成 瀬 徳 晃	(有)成瀬でんき
委 員 (宇 城)	東 田 慎 一	(有)大東工業
委 員 (八 代)	野 田 義 治	(株)野田設備
委 員 (水 俣)	前 田 俊 一	(有)トシワ
委 員 (人 吉)	緒 方 保 正	(有)緒方水道設備
委 員 (天 草)	連 川 仁 視	連川設備

維持管理委員会名簿

平成18年度～平成19年度

	氏 名	事 業 所 名
部 会 長	島 田 好 久	(有)水俣浄化槽管理センター
委 員 長	富 岡 庸 一 郎	(有)旭総合メンテナンス
委 員 (熊 本)	福 島 光 悦	(有)光水メンテナンス
委 員 (熊 本)	武 田 昭 夫	武田施設産業(有)
委 員 (熊 本)	内 野 静 子	(有)アクアサービス
委 員 (熊 本)	正源司 渡	(株)健康舎
委 員 (熊 本)	内 田 幸 一 郎	(有)旭清掃社
委 員 (有 明)	那 須 良 介	(株)中央環境管理センター
委 員 (有 明)	武 田 正 己	(株)玉名北部環境
委 員 (有 明)	田 中 雄 三 郎	(有)田中商会
委 員 (山 鹿)	松 岡 修	(有)松岡清掃公社
委 員 (菊 池)	日 野 眞 一	(有)日野環境
委 員 (宇 城)	宮 崎 龍 也	(有)宮崎清掃社
委 員 (宇 城)	岡 村 謙 一	(株)オカムラ

社団法人熊本県浄化槽協会法定検査業務計画

1 策定経緯

1) 旧業務計画

- ・平成13年度からの新検査方式（BOD 検査制度）の導入と検査手数料の変更に際し、県へ提出した業務計画。計画期間は13年度～17年度
- ・16年度実績で評価すると、法定検査（7条・11条検査）のうち、7条検査は前納制（平成8年度導入）の徹底により100%の検査実施率を確保。
一方、11条検査は目標基数の6万8千基に対し、実施基数は5万9千基、達成率87%で概ね所期の目標は達成されたが、全設置基数14万4千基に対する実施率は41%と全国平均の18%を上回るものの、低率で推移。
- ・課題として、維持管理業界との協力体制の構築、設置者への啓発・未受検者対策。

2) 新業務計画

- ・旧計画の総括、及び法定検査など浄化槽の維持管理の徹底を盛り込んだ改正浄化槽法の施行などの状況を踏まえ、向こう5年間の業務計画として策定。

2 新業務計画の要旨

- 1) 指定検査機関としての役割を踏まえ、「法定検査業務の更なる推進」と「業務管理の徹底・財務基盤の強化」等を基本方針として掲げ、業務を推進
- 2) 計画期間は平成18年度～平成22年度（中間年度 平成20年度）

総設置基数

区 分	既存年度		計 画 年 度				
	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
総設置基数（基）	143,762	141,700	140,000	138,500	137,000	135,500	134,000
浄 化 槽	47,337	51,700	56,000	60,500	65,000	69,500	74,000
みなし浄化槽	96,425	90,000	84,000	78,000	72,000	66,000	60,000

(注) 総設置基数は、19年度以降1,500基ずつ減少するものと予測。(過去4年間の実績より予測)

	増 加	減 少	増 減
浄化槽	5,300基	800基	4,500基増加
みなし浄化槽	0基	6,000基	6,000基減少
総 数	5,300基	6,800基	1,500基減少

検査実施目標（実施率及び実施基数）

区 分		年 度	既存年度		計 画 年 度				
			16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
実 施 率 (%)			41	44	45	50	60	70	80
実 施 基 数 (基)			59,388	61,674	62,700	69,250	82,200	94,850	107,200
内 訳	浄 化 槽	実 施 率	70	72	74	75	80	85	90
		実 施 基 数	33,045	37,020	41,200	45,375	52,000	59,075	66,600
	み な し 浄 化 槽	実 施 率	27	27	26	31	42	54	68
		実 施 基 数	26,343	24,654	21,500	23,875	30,200	35,775	40,600

(注) 実施率（実施基数÷総設置基数）及び実施基数算出の考え方

- ・22年度の目標実施率を80%とする。（先行県の実施状況等を参考）
- ・18年度は、これまでの実績等を踏まえ設定、19年度から21年度は各年10%の増加を見込んで設定

3) 数値目標は法定検査の実施率を最終年度（22年度）80%

4) 主な施策

- ・維持管理業界との協力体制の構築
- ・浄化槽設置者（設置予定者含む）に対する講習会の開催等啓発活動の推進
- ・効率性、信頼性の観点から協会の組織体制の整備
- ・県及び、熊本市に対し未受検者対策について指導強化の要請 など

3 新業務計画の主な策定スケジュール等

- ・平成17年11月～18年4月 協会専門委員会において延べ6回審議
- ・平成18年4月26日 協会理事会へ説明
- ・平成18年5月17日 協会理事会において承認
- ・平成18年5月26日 協会通常総会へ報告

環境科学分析センター ～環境計量事業ご案内～

「きれいな水は分析から！」

生活排水・事業所排水等の分析
河川等の水質調査・汚濁解析

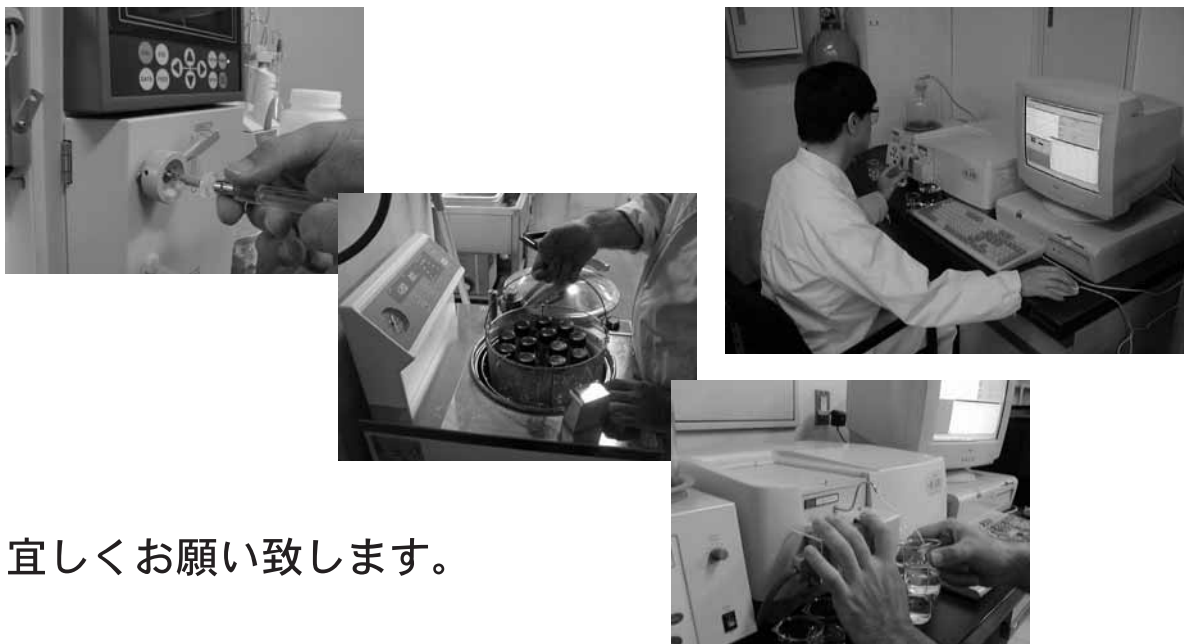
環境計量事業は一昨年から「環境科学分析センター」の部署名にて事業を行っております。

限られた分析項目ながら、昨年度は100検体を超すご利用をいただき、また最近では全国大会向けの分析も多数ご依頼いただいております。会員の皆様や関係の方々へ御礼を申し上げます。結果を早く知りたい依頼者の身になって正確で、迅速な分析を心掛けますので、今後どうぞよろしくお願いいたします。

有明海八代海特別措置法にともなう上乗せ排水基準、横出し排水規制の改定が平成20年4月より施行されます。県内ほとんどの河川は有明海や八代海へとつながっています。海の環境を守るにはまず身近な河川の環境を守ること、生活排水・事業場排水に関わる私たちは大きな役割を担っていると言えましょう。環境科学分析センターも、現在の排水分析主体の業務から、地域の河川環境改善への取り組みができるよう情報とデータの収集に努めてまいりたいと考えております。

地域の水環境が更に良くなるよう、環境科学分析センターをどうぞご活用ください。

(環境計量担当：倉岡・河田)



宜しくお願い致します。

< 分析料金表 >

個別項目	略号	基本料金(円)		クール便料金(円)	
		一般	協会会員	一般	協会会員
水素イオン濃度	pH	700	500	800	600
浮遊物質量 (懸濁物質)	SS	3,000	2,500	3,200	2,700
生物化学的酸素要求量	BOD	3,000	2,500	3,200	2,700
化学的酸素要求量	COD _{Mn}	3,000	2,500	3,200	2,700
ノルマルヘキサン抽出物質量(油分等)	n-Hex	3,500	3,000	3,700	3,200
全窒素	T-N	3,700	3,200	3,900	3,400
全リン	T-P	3,700	3,200	3,900	3,400
アンモニア性窒素	NH ₄ ⁺ -N	3,800	3,300	4,000	3,500
亜硝酸性窒素	NO ₂ ⁻ -N	3,300	2,800	3,500	3,000
硝酸性窒素	NO ₃ ⁻ -N	3,300	2,800	3,500	3,000
活性汚泥濃度 計量法の登録対象外です	MLSS	1,600	1,100	1,800	1,300
大腸菌群数 (平板法) 計量法の登録対象外です		3,700	3,200	3,900	3,400
セット項目	pH, SS, BOD	3,800	3,300	4,100	3,600
	pH, SS, BOD, COD _{Mn}	5,300	4,800	5,600	5,100
	pH, SS, BOD, 大腸菌群数	8,300	7,500	8,600	7,800
	pH, SS, BOD, T-N, T-P	6,400	5,800	6,700	6,100
	pH, SS, BOD, COD _{Mn} , 大腸菌群数	10,400	9,000	10,700	9,300
	pH, SS, BOD, COD _{Mn} , n-Hex	8,600	7,800	8,900	8,100
	pH, SS, BOD, T-N, T-P, 大腸菌群数	12,100	10,500	12,400	10,800
	pH, SS, BOD, COD _{Mn} , n-Hex, 大腸菌群数	14,400	12,500	14,700	12,800

上記以外の項目もご相談に応じます

※クール便料金は着払い送料込みです



未来に向かって

7月より1年間、財団法人 日本環境整備教育センターで浄化槽を含めた生活排水処理の技術と知識を習得する目的で研修を受けさせて頂くことになりました。財団法人 日本環境整備教育センターとは、浄化槽その他の水処理施設の技術者の養成、水質汚濁防止等の技術に関する調査研究等を行っている機関になります。

現在、浄化槽協会は法定検査業務を中心に計量証明業務（濃度）を行っています。法定検査におきましては浄化槽法の改正があり、平成18年2月1日より施行され、ますます浄化槽に対する法定検査の重要性が高くなると思われます。また、窒素やリンを除去する高度処理浄化槽もここ数年で多く増え、法定検査業務上においても常に新しい知識と技術力の習得が必要となっています。

そのような中、浄化槽協会の今までの法定検査業務の知識と経験を活かして、今後、ますます関心と必要性が高まるとされる生活排水処理計画等において、浄化槽の重要性などの提案ができればと思っています。

財団法人 日本環境整備教育センターでは、専門的なことをできるだけ多く習得し、今後の浄化槽協会の事業の発展に寄与していきます。

検査員 東 幸 宏

もうすぐ新しいホームページが完成します。

来る10月4日から5日に「第20回全国浄化槽技術研究集会」が熊本で開催されます。

併せて（社）熊本県浄化槽協会ホームページを、9月に一新する予定です。

内容としましては、「水環境保全のために何をすべきなのか」「協会の業務及び法定検査への理解を図る」「浄化槽設置推進や使用する上での利点」「浄化槽を使用する上で行わなくてはならないこと」等、多くの浄化槽設置者管理者及び行政の浄化槽担当者、業界関係者の方々に、常に最新情報の伝達を図り、「環境立県くまもと」の環境団体として「今何をすべきか」と言う皆様の疑問にお答えできるようにと心掛けて参ります。

ホームページに関するご意見・ご感想等ございましたら、私共まで是非お寄せ下さい。

ホームページ担当者

会長退任にあたり

浄化そのの世界と私



皆吉 剛

私の目が百倍の虫眼鏡であったなら、
 浄化そのの世界をながめて、何を想うだろう。
 目の前を泳ぎ回る不可思議な微生物と、私、
 一つの共通の生命より始まった事、・・・・。
 どう理解すればいいのだろうか？
 生命誕生から四十億年、私は今、その最後尾に
 います。
 あなたもいます。

気の遠くなる出会いの数かず、一度のミスも無かった。
 だからこそ、

あなたも、私もここにいるのです。

何でも無い浄化そのの世界にも、こんな同じ出会いと時間が流れているのです。

不思議な世界と思いませんか？

般若心経に有名な、色即是空、との言葉があります。

一切の形のあるものが、其のままでありながら、なにもない。

こんな事でしょうか？

虫眼鏡を外して現実を眺めるとき、感情が支配するこの世界には、

理解できない事が色々おきています。どうなるのでしょうか？

半世紀もまえ、浄化そのの仕事を創業した校長上がりの父、自分の夢を捨てても

手伝う決心をした高校生時代の私、悩みました。しかし、

良かった、幸せだった、この二つの言葉が全てです。

一期一会、私の好きな言葉です。

この出会いは、最後であろう。だから大切にしたい。そう心がけました。

浄化その、

このキーワードの源に、沢山の方々との出会いがありました。

感謝とともに、私の宝といたします。

長い間、

皆様方には、本当にお世話になりました。

第20回全国浄化槽技術研究集会開催のご案内



浄化槽技術研究会会員、学識経験者、浄化槽行政担当者、市民等、浄化槽に関係する者が一堂に会して、浄化槽にかかわる新技術の研究発表、現場の事例発表ならびにシンポジウム等により最新の情報を提供し協議することによって、浄化槽の技術の向上と意識の高揚ならびにその普及促進を図り、生活排水対策に寄与することを目的に、「浄化槽の日」の関連事業として開催されています。

開催期間：平成18年度10月4日(水)～5日(木)・2日間

- 1) 平成18年10月4日(水)：浄化槽検査員研究会
- 2) 平成18年10月4日(水)：第28回浄化槽行政担当者研究会 (併催)
- 3) 平成18年10月5日(木)：研究発表会
- 4) 平成18年10月5日(木)：全国浄化槽技術研究集会

会 場	「熊本全日空ホテル ニュースカイ」
主 催	財団法人 日本環境整備教育センター
後 援 (予定)	環境省 / 農林水産省 / 熊本県 / 熊本市 / 「浄化槽の日」実行委員会 / 全国合併処理浄化槽普及促進市町村協議会
協 賛 (予定)	社団法人全国浄化槽団体連合会 全国環境整備事業協同組合連合会 日本環境保全協会 全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会 社団法人熊本県浄化槽協会 九州地区浄化槽指定検査機関協議会 浄化槽フォーラム・熊本実行委員会
参 加 費	無料 (但し、各会要旨集は1冊1000円消費税込)

編集後記

今年度より新しく協会ニュースを担当することとなり、8月号にふさわしい風景を表紙に掲載したいと思い、天草市有明町まで写真を取りに伺いました。『タコ』は、有明町では夏ごろ軒先に『干しダコ』用として吊り下げられて、夏を感じさせてくれる風景となっています。この『干しダコ』を木槌などでやわらかくして料理に使うということを天草支所に勤務していた頃、地元の人から聞いたことがあります。

私たちが頭をやわらかくして、皆様にわかりやすい協会ニュースを編集していきたいと思っております。なにぶん初心者の二人のため未熟な点もございますが、創意工夫しながら次回の編集に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

二宮 和果・吉野英美子

社団法人 熊本県浄化槽協会

本部 / 〒862-0965 熊本市田井島3丁目9番18号
TEL (096) 370-3355 FAX (096) 370-3388

発行日：平成18年8月1日
発行人：横山 英生